

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	重症心身障がい児 福祉ルームみらい早良Ⅱ号館		
○保護者評価実施期間	令和7年 12月 1日		令和8年 2月 1日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	23名	(回答者数) 16名
○従業者評価実施期間	令和7年 12月 1日		令和8年 12月 1日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5名	(回答者数) 5名
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年 3月 1日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)と思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	医療ケア児の受け入れが来ている。	<ul style="list-style-type: none"> 医療ケア児を受け入れるための看護師配置があり、多職種による専門的な支援が受けれる。 連絡帳などその日実施した医療ケアなど細かく記載し保護者との共有を図っている。 主治医からの指示書を基に医療ケアの実施を行っている。 	<ul style="list-style-type: none"> 専門的支援実施計画書の作成などを行い、支援の実施を図っている。 福祉サービスについての知識や技術を深め、家族の相談や助言が行えるように努める。
2	季節や行事に合わせたレクリエーション・制作活動を行っている。	<ul style="list-style-type: none"> 重心児の児童さんが取り組みやすいように工程を少なくしたり、指先を使うものや感覚刺激になる様なものを取り入れたりするなど内容を工夫している。 季節や月の行事を感じられるような活動や制作を毎月実施している。 	引き続き職員全員で案を出しながら児童が楽しんでもらえるようなレク活動や制作を行っていく。
3	機能訓練(歩行や手先課題・マッサージや生活動作)に力を入れている。	<ul style="list-style-type: none"> リハビリの専門職員が専従で事業所にいるため、装具を履いての歩行訓練、制作や活動を通しての手指動作、衣服の着脱等の生活動作、足浴やマッサージ等を行っている。 	引き続き保護者や児童さんの希望を取り入れながら機能訓練を実施していく。

	事業所の弱み(※)と思われること ※事業所の課題や改善が必要と思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域や保護者との交流が出来ていない。	<ul style="list-style-type: none"> 感染対策の強化の為 福祉サービスや訪問看護等のスケジュールが違うため交流会の日程調整が難しい。 	<ul style="list-style-type: none"> 感染対策に気を付けながらきょうだい交流や地域交流が行えるように検討する。 保護者に交流会のニーズを確認し、必要であれば検討していく。
2	子どもに対する家族の対応力向上の為の「ペアレントトレーニング」等や家族が参加できる研修の場の提供及び情報提供が弱い	<ul style="list-style-type: none"> 保護者様から個別相談に対し寄り添い話をする機会は出来ているが、多くの保護者を対象とした研修や情報提供の取り組みが弱い 	<ul style="list-style-type: none"> ご家族様に研修のニーズを確認し、必要であれば検討していく。 個別に相談されることは引き続き行い、相談しやすい関係性の構築に今後も力を入れていく。
3	外出支援があまりできていない。	<ul style="list-style-type: none"> 感染対策強化のため 医療ケア児が多数おり、ケアの時間がそれぞれ異なっていたため外出支援が難しい。 	<ul style="list-style-type: none"> 外出する際のスケジュールを見直していく。 外出する際は医療ケアの内容を事前に保護者様に相談する。